

今回調査案と前回調査の比較

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
問1 あなたの性別をお書きください 性同一性障害などの人たちの人権問題を認識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためにお伺いしています。	問1 あなたの性別をお書きください 性同一性障害などの人たちの人権問題を認識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためにお伺いしています。	
問2 あなたの年齢をお書きください	問2 あなたの年齢をお書きください	
問3 あなたの現在の配偶関係（1つ選んでください） 1. 結婚している（ <u>事実婚を含む</u> ） 2. 過去に結婚していたが、離婚・死別した 3. 結婚していない <u>配偶関係には、同性パートナーを含みます。</u> 事実婚とは、婚姻届を出していないが事実上の婚姻状態にあることをいいます。	問3 あなたの現在の配偶関係（1つ選んでください） 1. 結婚している 2. 事実婚 3. 過去に結婚していたが、離婚・死別した 4. 結婚していない 事実婚とは、婚姻届を出していないが事実上の婚姻状態にあることをいいます。	
問4 あなたの家族構成（1つ選んでください） 1. 一人世帯 2. 一世代家族（夫婦のみ） 3. 二世世代家族（夫婦と子、親と子など） 4. 三世世代家族（親と子と孫など） 5. その他	問4 あなたの家族構成（1つ選んでください） 1. 一人世帯 2. 一世代家族（夫婦のみ） 3. 二世世代家族（夫婦と子、親と子など） 4. 三世世代家族（親と子と孫など） 5. その他	
問5 あなたの職業は何ですか。（複数の場合は主なものを1つ選んでください） 1. 正規の職員・従業員（雇われている人） 2. 派遣社員（雇われている人） 3. パート・アルバイト・その他（雇われている人） 4. 会社などの役員 5. 自営業主・ <u>自由業</u> （雇い人あり） 6. 自営業主・ <u>自由業</u> （雇い人なし） 7. 家族従業者 8. 家庭内の賃仕事（内職） <u>9. 家事専業（専業主婦・夫など、専ら家事にのみ携わっている人）</u> <u>10. 学生</u> <u>11. 無職（年金生活者）</u> <u>12. 無職（失業中など）</u> <u>13. その他</u>	問5 あなたの職業は何ですか。（複数の場合は主なものを1つ選んでください） 1. 正規の職員・従業員（雇われている人） 2. 労働者派遣事業所 の派遣社員（雇われている人） 3. パート・アルバイト・その他（雇われている人） 4. 会社などの役員 5. 自営業主（雇い人あり） 6. 自営業主（雇い人なし） 7. 家族従業者 8. 家庭内の賃仕事（内職）	働いていない人の状況も把握できるように選択肢を増やしました
問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように考えますか。（1つ選んでください） 1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない	問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように考えますか。（1つ選んでください） 1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない	
問6-1（問6で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください） 1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから 2. 自分の両親も役割分担をしていたから 3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから 4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから 6. その他 7. 特になし 8. わからない		国の調査項目を採用 性別役割分担に賛成する理由を尋ねました

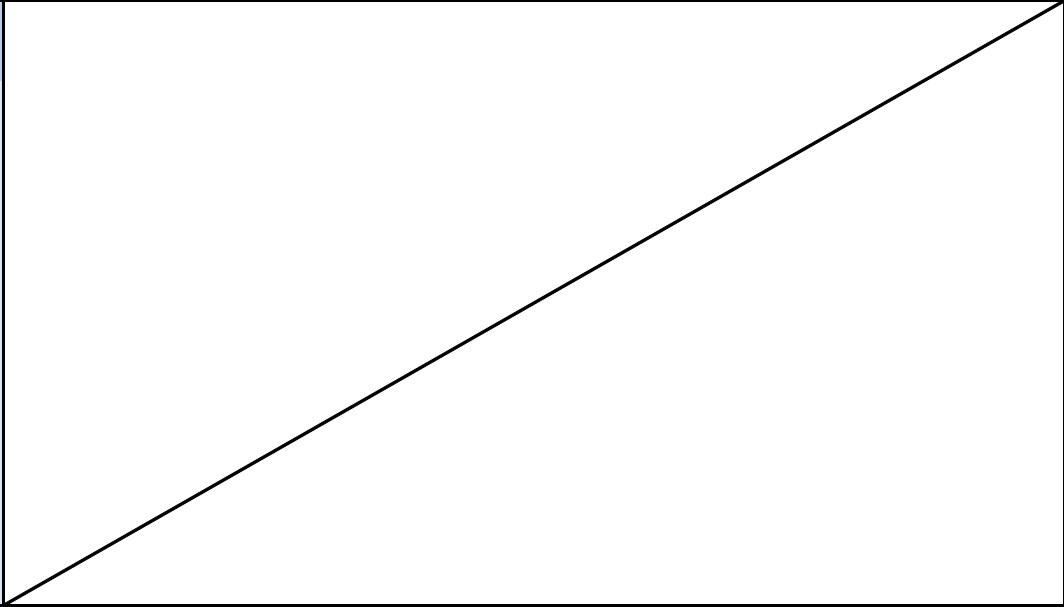
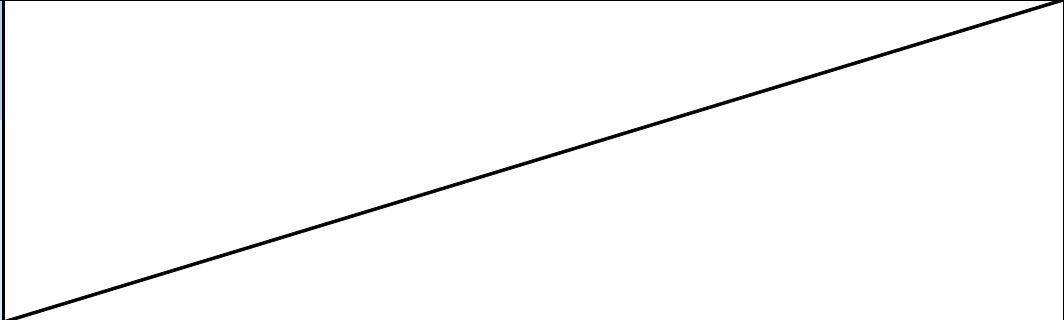
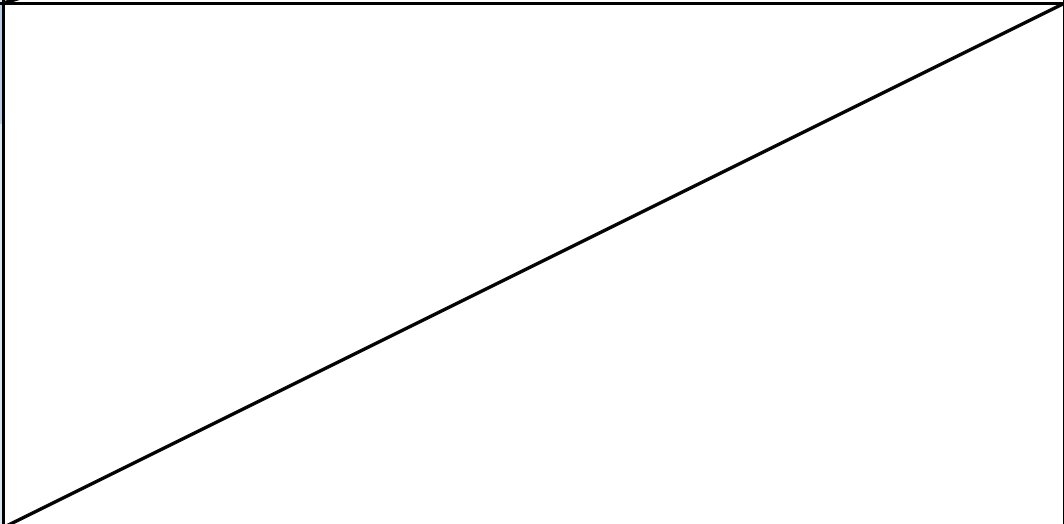
今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問6-2（問6で「どちらかといえば反対」「反対」と答えた方に）あなたが、そう思うのはなぜですか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女平等に反すると思うから 2. 自分の両親も外で働いていたから 3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから 4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから 5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから 6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから 7. その他 8. 特にない 9. わからない 		<p>国の調査項目を採用</p> <p>性別役割分担に反対する理由を尋ねました</p>
<p>問7 あなたは次の～で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>家庭生活 職場 地域 学校教育の場 政治の場 法律や制度の上 社会通念・慣習・しきたりなど</p> <p>×</p> <p>女性が優遇されている どちらかと言えば女性が優遇されている 平等になっている どちらかと言えば男性が優遇されている 男性が優遇されている</p>	<p>問7 あなたは次の～で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>家庭生活 職場 地域 学校教育の場 政治の場 法律や制度の上 社会通念・慣習・しきたりなど</p> <p>×</p> <p>女性が優遇されている どちらかと言えば女性が優遇されている 平等になっている どちらかと言えば男性が優遇されている 男性が優遇されている</p>	
<p>問8 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性が優遇されている 2. どちらかと言えば女性が優遇されている 3. 平等になっている 4. どちらかと言えば男性が優遇されている 5. 男性が優遇されている 	<p>問8 あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性が優遇されている 2. どちらかと言えば女性が優遇されている 3. 平等になっている 4. どちらかと言えば男性が優遇されている 5. 男性が優遇されている 	
<p>問9 あなたは宇治市が行っている次の相談窓口についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>女性のための相談（面接相談・電話相談） 男性のための相談（電話相談）</p> <p>×</p> <p>知っている 知らない</p> <p>とも宇治市男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ内）で実施しています。</p>	<p>問9 あなたは次の2つの相談窓口についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>宇治市男女共同参画支援センター（ゆめりあうじ内） 京都府男女共同参画センター（京都テルサ内）</p> <p>×</p> <p>知っている 知らない</p>	<p>女性相談と男性相談の認知を聞く内容に改めました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問10 あなたは次の ～ の「ことば」や「事柄」についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p><u>男女共同参画社会 / 男女が社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野の活動に参画し、利益を享受するとともに責任を担う社会。</u></p> <p>男女共同参画社会基本法</p> <p><u>女性活躍推進法 / 働く場面で活躍したいという希望を持つ女性が活躍できるよう、一定規模以上の企業等に取り組む義務づけた法律。</u></p> <p><u>候補者男女均等法 / 国会と地方議会の選挙で、各政党に候補者数をできる限り男女均等にしよう求める法律。</u></p> <p><u>ポジティブ・アクション（積極的改善措置） / 社会的・構造的な差別によって不利益を被っている集団に対して、一定の範囲で特別の機会を提供して実質的な機会均等の実現を目的として講じる暫定的な措置のこと。</u></p> <p><u>仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） / 働く人が「仕事」も「生活」（育児や介護、趣味、地域活動など）も充実させて豊かな人生を送ることをめざす働き方、生き方のこと。</u></p> <p><u>ジェンダー / 生物学的な性別に対して社会的・文化的に形成された性別のこと。</u></p> <p><u>マタニティ・ハラスメント / 妊娠・出産を理由として被る不利益や、精神的・肉体的な嫌がらせのこと。</u></p> <p>ドメスティック・バイオレンス（DV）</p> <p>第4次UJIあさぎりプラン（宇治市男女共同参画計画）</p> <p>宇治市男女生き生きまちづくり条例</p> <p>×</p> <p>内容まで知っている</p> <p>言葉を見たり聞いたりしたことはある</p> <p>全く知らない</p>	<p>問10 あなたは次の ～ の「ことば」や「事柄」についてご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>男女共同参画社会</p> <p>男女共同参画社会基本法</p> <p>—女子差別撤廃条約</p> <p>—男女雇用機会均等法</p> <p>ポジティブ・アクション（積極的改善措置）</p> <p>仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）</p> <p>ジェンダー</p> <p>—モラル・ハラスメント</p> <p>ドメスティック・バイオレンス（DV）</p> <p>第3次UJIあさぎりプラン（宇治市男女共同参画計画）</p> <p>宇治市男女生き生きまちづくり条例</p> <p>×</p> <p>内容まで知っている</p> <p>言葉を見たり聞いたりしたことはある</p> <p>全く知らない</p>	<p>新しい法律を取り上げました。</p> <p>「モラル・ハラスメント」よりも女性に関わりの深い「マタニティ・ハラスメント」を取り上げました。</p>
<p>問11 この5年間で、<u>あなたの周囲の状況から判断して</u>次の ～ がどの程度進んだと思いますか。（それぞれ1つ選んでください。）</p> <p>男女平等の考え方</p> <p>政策・方針決定の過程への女性の進出</p> <p>会社などでの女性管理職の数</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの実現</p> <p>セクシュアル・ハラスメント やDVなど女性に対する暴力への市の対応</p> <p>市の女性の健康保持に関する支援</p> <p>×</p> <p>前進した</p> <p>どちらかといえば前進した</p> <p>変わらない</p> <p>どちらかといえば後退した</p> <p>後退した</p> <p>わからない</p>	<p>問11 この5年間で、<u>宇治市では</u>次の ～ がどの程度進んだと思いますか。（それぞれ1つ選んでください。）</p> <p>男女平等の考え方</p> <p>政策・方針決定の過程への女性の進出</p> <p>会社などでの女性管理職の数</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの実現</p> <p>セクシュアル・ハラスメント(*)やDVなど女性に対する暴力への市の対応</p> <p>市の女性の健康保持に関する支援</p> <p>×</p> <p>前進した</p> <p>どちらかといえば前進した</p> <p>変わらない</p> <p>どちらかといえば後退した</p> <p>後退した</p> <p>わからない</p>	<p>宇治市内だけに限定するのは答えにくいと考えて修正しました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問12 次の事柄について、あなたのご家庭では誰が実際にその役割をされていますか。（単身世帯の方は、もとい家庭を想定してお答えください）（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>食事のしたく 食事のあとかたづけ 洗濯 掃除 日常の買い物 育児 介護 地域における活動 生活費の確保 日常の家計管理 家庭における重要な決定</p> <p>×</p> <p>主として夫（父） 主として妻（母） 夫（父）と妻（母）で分担 子ども 家族全員 その他の人</p>	
	<p>問13 次の事柄について、家庭では誰がその役割をするのが理想だと思いますか。（単身世帯の方はもとい家庭や今後の家庭を想定してお答えください）（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>食事のしたく 食事のあとかたづけ 洗濯 掃除 日常の買い物 育児 介護 地域における活動 生活費の確保 日常の家計管理 家庭における重要な決定</p> <p>×</p> <p>主に夫（父） 主に妻（母） 夫（父）と妻（母）で分担 子ども 家族全員 その他</p>	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問14 問13の回答について、その理由をお答えください。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．男女の役割分担についての社会通念やしきたりがあるから 2．男性が仕事で、家庭にいる時間が少ないから 3．家庭内の仕事をするのは女性であるという意識が強いから 4．仕事と家庭を両立して家族で協力し合うという考え方があまりないから 5．男女ともに仕事をしている場合は、家族で役割分担すればよいから 6．家庭内の仕事は、就業の有無にかかわらず家族で協力すればよいから 7．その他 	<p>修正、追加の意図</p> <p>問13のどの回答に対する理由が分かりづらいことと、新たに加えた問6-1、問6-2と被ることから削除しました</p>
<p>問12 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと 2．男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと 3．夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること 4．年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること 5．社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること 6．男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること 7．労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること 8．男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと 9．男性が家事・育児などを行うための、仲間づくりをすすめること 10．その他 11．特に必要なことはない 		<p>国の調査項目を採用</p> <p>男性の家事・育児等への参加に必要なことに関する意識を明らかにするために追加しました</p>
<p>問13 あなたは、子どもにどのように育てほしいですか（ほしかったですか）。子どものいない方もいるとしたらと仮定してお答えください。（女の子、男の子それぞれいくつでも）</p> <p>女の子に 男の子に ×</p> <p>経済的な自立ができるように 自分の身の回りのことができるように 社会に役立つように 責任感をもてるように やさしさと思いやりをもてるように 素直に、人の言うことをよく聞くように 自分の考えを人前ではっきり言えるように まわりに気配りができるように</p>		<p>教育が1問だけであったため、女の子と男の子で育てほしい在り方の違いがあるかどうかを明らかにするため追加しました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問14 男女共同参画を進めるために、<u>子どもの教育において</u>どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <p><u>1. 男女平等の意識を育てる教育をする</u></p> <p><u>2. 進路や職業選択において多様な選択肢にふれる機会を与え、本人の希望を優先し応援する姿勢をもつ</u></p> <p><u>3. 幼児のときから自分の心とからだを大切にすることを意識を育み、いじめや暴力から自分を守る力を育てる</u></p> <p><u>4. 男女がともに家庭の責任を果たすことの大切さを教える</u></p> <p><u>5. 年齢に応じた性教育を行う</u></p> <p><u>6. 「男の子だから」「女の子だから」といった役割やふるまいを性別で決めつけるような言い方をしない</u></p> <p><u>7. 男女双方に、家事能力が身につくような経験をさせる</u></p> <p><u>8. 男女双方に、経済的自立の意識をもつよう働きかける</u></p> <p><u>9. 周囲の大人が、男女が平等で対等な人間関係をつくる</u></p> <p>10. その他</p> <p><u>11. 特に必要ない</u></p>	<p>問15 男女共同参画を推進するためには、<u>学校教育の場において</u>、どのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 男女共同参画社会づくりに向けての教育を充実する</p> <p>2. 教員に男女共同参画社会づくりに向けた研修を実施する</p> <p>3. 教員を男女バランスよく配置する（中学での女性教員の比率向上など）</p> <p>4. 多様な選択を可能にする進路指導を実施する</p> <p>5. 性教育を充実する</p> <p>6. その他</p>	<p>学校では、一定の男女平等教育は取り組まれているため、学校に限定しない設問に変更しました</p>
<p>問15 女性が仕事をするについてあなたはどのようにお考えですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 結婚・出産にかかわらず仕事を続ける方がよい</p> <p>2. 出産後は一時家庭に入り、育児が終われば再び仕事に就く方がよい</p> <p>3. 出産前までは仕事に就く方がよい</p> <p>4. 結婚するまでは、仕事に就く方がよい</p> <p>5. 女性は仕事に就かない方がよい</p> <p>6. その他</p>	<p>問16 女性が仕事をするについてあなたはどのようにお考えですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 結婚・出産にかかわらず仕事を続ける方がよい</p> <p>2. 出産後は一時家庭に入り、育児が終われば再び仕事に就く方がよい</p> <p>3. 出産前までは仕事に就く方がよい</p> <p>4. 結婚するまでは、仕事に就く方がよい</p> <p>5. 女性は仕事に就かない方がよい</p> <p>6. その他</p>	
<p>問16～問17は、<u>現在就労している方のみお答えください</u></p>	<p>問17～問20は、<u>現在就労している方のみお答えください</u></p> <p>問17 あなたの平日における平均的な時間の使い方をお答えください。</p> <p>仕事に関する時間（仕事・通勤・職場での休憩時間など）</p> <p>家事に関する時間</p> <p>育児に関する時間</p> <p>介護に関する時間</p> <p>自由時間（社会参加、スポーツ、趣味・娯楽など）</p> <p>食事・入浴など</p> <p>睡眠</p>	<p>前回調査で無回答率が高かったため</p>
<p>問16 働く目的や理由について、あてはまるものをお答えください。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 生活費を得るため</p> <p>2. 将来にそなえて貯蓄するため</p> <p>3. 自由でゆとりある生活をするため</p> <p>4. 自分の能力や技術を活かすため</p> <p>5. 働くことで視野を広げるため</p> <p>6. 社会に貢献するため</p> <p>7. 生きがい・やりがいを得るため</p> <p>8. 家業を継承するため</p> <p>9. その他</p>	<p>問18 働く目的や理由について、あてはまるものをお答えください。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 生活費を得るため</p> <p>2. 将来にそなえて貯蓄するため</p> <p>3. 自由でゆとりある生活をするため</p> <p>4. 自分の能力や技術を活かすため</p> <p>5. 働くことで視野を広げるため</p> <p>6. 社会に貢献するため</p> <p>7. 生きがい・やりがいを得るため</p> <p>8. 家業を継承するため</p> <p>9. その他</p>	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問17 あなたは、今の職場・仕事に不満や悩みがありますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．収入が少ない 2．労働時間が長い、労働時間が不規則 3．休暇が取りにくい 4．身体的負担が大きい 5．能力が正当に評価されていない 6．ハラスメント がある 7．仕事と家庭や個人の生活の両立がむずかしい 8．職場の人間関係がむずかしい 9．昇進や昇給などの待遇で差別されている 10．女性が働き続けることに理解がない 11．会社や仕事の先行きが不安 12．その他 13．特にない 		
<p>問18～問19は、問5で、「9．専業主婦・専業主夫」または「11．無職」と答えられた方におたずねします。</p> <p>問18 あなたは、今後、働きたいと思いますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．すぐ働きたい 2．条件が整えば働きたい 3．働きたくない 4．その他 5．わからない 		<p>働いていない女性の就労意向を明らかにするため追加しました</p>
<p>問19 問21で「1．すぐ働きたい」または「2．条件が整えば働きたい」と答えられた方におたずねします。今後は働きたいけれども、現在働いていない理由は何ですか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．自宅に近い勤め先が見つからない 2．希望の給料に合う勤め先が見つからない 3．希望の勤務時間に合う勤め先が見つからない 4．希望の雇用形態に合う勤め先が見つからない 5．子どもが小さいうちは自分で世話をしたい 6．子どもが保育所などに入所できなかった 7．家族の協力が得られない 8．親や家族の介護・看護がある 9．自分の健康に不安がある 10．その他 		<p>働きたいのに働いていない理由を明らかにするために追加しました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問19 あなたの職場で、下記の ～ の項目について、どのように感じますか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用・募集 仕事内容 給与・賃金 昇格・降格 能力・成果の評価 研修・訓練の機会 勤務時間 福利厚生 解雇 再雇用 その他 <p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性が優遇されている 男女平等である 男性が優遇されている わからない 	
	<p>問20 あなた自身が、仕事と家庭を両立するためにはどのようなことが必要だと思います。（2つまで選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 家庭や職場における両立の考え方の浸透 2. 家族の積極的な支援や協力 3. 民間家事支援サービスの利用 4. 保育・託児サービスの充実 5. 労働環境の整備 6. 介護サービスの充実 7. 地域の支援センターなどでの相談体制の充実 8. 両立を推進する法律の整備 9. その他 10. わからない 	
<p>問20 あなたは、育児を行うために育児休業の制度を利用したことがありますか。（1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 制度を利用したことがある 2. 制度を利用したかったが、利用できなかった 3. 育児休業取得が必要となったことがない 4. 制度の対象になったことがない（制度ができる前に出産した、など） 	<p>問21 あなたは、育児を行うために育児休業の制度を利用したことがありますか。（1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 制度を利用したことがある 2. 制度を利用したかったが、利用できなかった 3. 育児休業取得が必要となったことがない 4. 制度の対象になったことがない（制度ができる前に出産した、など） 	
<p>問21 あなたは、介護を行うために介護休業の制度を利用したことがありますか。（1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 制度を利用したことがある 2. 制度を利用したかったが、利用できなかった 3. 介護休業取得が必要となったことがない 4. 制度の対象になったことがない（制度ができる前に介護を行った、など） 	<p>問22 あなたは、介護を行うために介護休業の制度を利用したことがありますか。（1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 制度を利用したことがある 2. 制度を利用したかったが、利用できなかった 3. 介護休業取得が必要となったことがない 4. 制度の対象になったことがない（制度ができる前に介護を行った、など） 	
	<p>問23 一般的に男性の育児休業、介護休業の取得が少ない現状がありますが、その理由は何だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 育児休業、介護休業制度が一般に浸透していないから 2. 職場において取得しにくい状況があるから（男性の取得の前例がないなど） 3. 育児休業、介護休業制度のしくみに問題があるから 4. 収入が減るなど、経済的な理由から 5. 取得する必要があるから 6. その他 	8

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問24 男性が育児休業や介護休業を取得することについて、あなたはどのように思いますか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <p>育児休業 介護休業</p> <p>× 積極的に取った方がよい どちらかといえば取った方がよい どちらともいえない どちらかといえば取らない方がよい 取らない方がよい</p>	
	<p>問25 問24のように回答された理由について、あてはまるものを選んでください。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 育児や介護は、家族で協力をするべきだから 2. 男性にとって良い経験となるから 3. それぞれの個人や家庭の問題だから 4. 現実問題として、取得することが難しいから 5. 男女で役割を分担するべきだから 6. 男性は家庭にいる時間が少ないから 7. その他</p>	
<p>問22 あなたの、自治会・町内会、PTAやボランティアなどの地域活動への参加状況は次のうちどれですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 現在、参加している 2. 過去に参加したことがある 3. 参加したことがない</p>	<p>問26 あなたの、自治会・町内会やボランティアなどの地域活動への参加状況は次のうちどれですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 現在、参加している 2. 過去に参加したことがある 3. 参加したことがない</p>	
<p>問23 あなたの地域活動への参加意向は次のうちどれですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 今後も参加したい（現在参加している） 2. 今後は参加したい 3. 地域活動への関心はない 4. その他</p>	<p>問27 あなたの地域活動への参加意向は次のうちどれですか。（1つ選んでください）</p> <p>1. 今後も参加したい（現在参加している） 2. 今後は参加したい 3. 地域活動への関心はない 4. その他</p>	
<p>問24 あなたが、地域活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 仕事が忙しいこと 2. 家事・育児・介護が忙しいこと 3. 子どもを預けるところがないこと 4. 健康・体力に自信がないこと 5. 経済的に余裕がないこと 6. 家族の理解や協力がいないこと 7. 活動場所がないこと 8. 活動情報がないこと 9. その他</p>	<p>問28 あなたが、地域活動に参加する際に、支障となることは何でしょうか。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 仕事が忙しいこと 2. 家事・育児・介護が忙しいこと 3. 子どもを預けるところがないこと 4. 健康・体力に自信がないこと 5. 経済的に余裕がないこと 6. 家族の理解や協力がいないこと 7. 活動場所がないこと 8. 活動情報がないこと 9. その他</p>	
<p>問25 あなたが住んでいる地域（自治会など）は男女で違いがあると思いますか。あると思うものにをつけてください。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 会議や行事などで女性が飲食の準備や後片付けをすることが多い 2. 会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見が取り上げてもらにくい状況がある 3. 役員選挙に女性がでにくい、また選ばれにくい状況がある 4. 地域の行事に女性が参加できない状況がある 5. 地域の活動に女性が少ないため、逆に女性が優遇される 6. その他 7. 特になし</p>	<p>問29 あなたが住んでいる地域（自治会など）は男女で違いがあると思いますか。あると思うものにをつけてください。（いくつでも選んでください）</p> <p>1. 会議や行事などで女性が飲食の準備や後片付けをすることが多い 2. 会議や行事などで女性が意見を言いにくい、意見が取り上げてもらにくい状況がある 3. 役員選挙に女性がでにくい、また選ばれにくい状況がある 4. 地域の行事に女性が参加できない状況がある 5. 地域の活動に女性が少ないため、逆に女性が優遇される 6. その他 7. 特になし</p>	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問26 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと 2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと 3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること 4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと 5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること 6. その他 7. 特にない 8. わからない 		<p>国の調査項目を採用</p> <p>地域における女性活躍に対する意識を明らかにするために追加しました</p>
<p>問27 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けた経験がありますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ながる、ける、物を投げるなどの身体的暴力 2. たびたび無視するなどの精神的暴力 3. ののしる、おどす、ばかにするなどの言葉の暴力 4. 性交渉を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力 5. 生活費を出さない、生活費を持っていくなどの経済的暴力 6. 外出や人との付き合いをきびしく制限するなどの精神的暴力 7. 携帯電話を細かく監視し、行動を制限するなどの精神的暴力 8. 受けたことがない 		<p>問30 あなたは、配偶者や親しい異性（恋人等）から一度でも次のような行為を受けた経験がありますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ながる、ける、物を投げるなどの身体的暴力 2. たびたび無視するなどの精神的暴力 3. ののしる、おどす、ばかにするなどの言葉の暴力 4. 性交渉を強要する、避妊に協力しないなどの性的暴力 5. 生活費を出さない、生活費を持っていくなどの経済的暴力 6. 外出や人との付き合いをきびしく制限するなどの精神的暴力 7. 携帯電話を細かく監視し、行動を制限するなどの精神的暴力 8. 受けたことがない
<p>問27で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします</p> <p>問28 あなたは、そのことを誰かに話したり、相談したりしましたか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族・親族に相談した 2. 同僚や友人に相談した 3. 職場の上司に相談した 4. 学校・職場の相談窓口で相談した 5. 公的機関に相談した 6. その他 7. 誰にも話さず、相談していない 	<p>問30で、何らかの行為を受けた経験がある方にお聞きします</p> <p>問31 あなたは、そのことを誰かに話したり、相談したりしましたか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族・親族に相談した 2. 同僚や友人に相談した 3. 職場の上司に相談した 4. 学校・職場の相談窓口で相談した 5. 公的機関に相談した 6. その他 7. 誰にも話さず、相談していない 	
<p>問28で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問29 相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰に相談してよいのかわからなかったから 2. 人に知られたくないから 3. 相談しても無駄だと思ったから 4. 相談しても自分の責任にされると思ったから 5. 相談したことが知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから 6. 自分にも悪いところがあると思ったから 7. 相談するほどのことではないと思ったから 8. 子どもや家族、他の人に危害が及ぶ、迷惑がかかると思ったから 9. 恐怖感があるから 10. その他 	<p>問31で、「7. 誰にも話さず、相談していない」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問32 相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰に相談してよいのかわからなかったから 2. 人に知られたくないから 3. 相談しても無駄だと思ったから 4. 相談しても自分の責任にされると思ったから 5. 相談したことが知れるとよりひどい暴力を受けると思ったから 6. 自分にも悪いところがあると思ったから 7. 相談するほどのことではないと思ったから 8. 子どもや家族、他の人に危害が及ぶ、迷惑がかかると思ったから 9. 恐怖感があるから 10. その他 	

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問30 配偶者や親しい異性（恋人等）からの暴力を防止し、解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者同士がよく話し合い理解を深める 2. 暴力をふるわないよう家族で説得する 3. 友人・知人などに相談ののってもらう 4. 暴力は人権侵害・犯罪であることを相手に啓発する 5. 公的相談窓口の強化 6. 弁護士と連携した相談体制の充実 7. 身近な地域での相談窓口の整備 8. 電話やFAX、メール等による相談体制の充実 9. 警察など関係機関と連携した相談体制の充実 10. 緊急避難施設・一時保護施設の充実 11. 緊急避難時の生活支援・子どもの教育支援 12. 被害者支援のカウンセラーやサポーターの育成 13. DV・デートDVに関する教育の充実 14. DV防止に関する啓発の強化 15. DVを許さない地域や社会の雰囲気づくり 16. その他 	<p>問33 配偶者や親しい異性（恋人等）からの暴力を防止し、解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者同士がよく話し合い理解を深める 2. 暴力をふるわないよう家族で説得する 3. 友人・知人などに相談ののってもらう 4. 暴力は人権侵害・犯罪であることを相手に啓発する 5. 公的相談窓口の強化 6. 弁護士と連携した相談体制の充実 7. 身近な地域での相談窓口の整備 8. 電話やFAX、メール等による相談体制の充実 9. 警察など関係機関と連携した相談体制の充実 10. 緊急避難施設・一時保護施設の充実 11. 緊急避難時の生活支援・子どもの教育支援 12. 被害者支援のカウンセラーやサポーターの育成 13. DV・デートDVに関する教育の充実 14. DV防止に関する啓発の強化 15. DVを許さない地域や社会の雰囲気づくり 16. その他 	
<p>問31 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような不快と感じる行為を受けたことがありますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる 2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる 3. 結婚や交際についてしつこく聞かれる 4. 体をさわられた・卑猥な話を聞かされる 5. 交際や性的行為を強要される 6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる（パワー・ハラスメント） 7. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント） 8. しつこくつきまとわれる（ストーカー行為） 9. 上記のような経験はない 	<p>問34 あなたは、職場や学校、その他の活動の場で次のような不快と感じる行為を受けたことがありますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体に触る 2. ダンスや歌などを強要する 3. 身体的な特徴を言う 4. 男女間のうわさをたてる 5. 既婚→未婚→年齢→子どもの有無などについて、詳しく聞く 6. 「おじさん」「おばさん」「○ちゃん」などと呼ぶ 7. 身体をじろじろ見る 8. おいせつな話をする 9. おいせつな雑誌→写真→ポスター→などを見せる 10. 交際や性的関係を強要する 11. その他 12. 不快と感じる行為を受けたことがない 	<p>セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、ストーカー行為を含む選択肢に変更しました</p>
<p>問35 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の原因はどこにあると思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人権尊重意識の欠如 2. セクハラをしているという自覚の欠如 3. 地位や権限の悪用 4. 慣れ合い的な人間関係 5. 信頼関係の欠如 6. その他 		<p>前問でハラスメントの被害実態を明らかにすることだけで、施策として取り組む理由となると考えたため、削除しました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問36 あなたは、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）をなくするにはどうすればよいと思いますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．セクハラに関する法的整備の充実 2．国のガイドラインを活用した啓発・指導の強化 3．職場や地域での学習会の開催 4．相談窓口の充実 5．弁護士と連携した相談体制の整備 6．その他 	
	<p>問37 あなたは、高齢期をどのように暮らしたいと思いますか。（2つまで選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．できる限り長く仕事を続けたい 2．ボランティアや地域活動をして地域社会に貢献したい 3．自分に合った趣味や好きなことをして生き生きと暮らしたい 4．仕事や子育てから解放され、のんびりゆったりと過ごしたい 5．旅行に行くなど、第二の人生を楽しみたい 6．家族とともに暮らしたい 7．高齢者施設で、気の合う仲間とともに生活したい 8．その他 	
	<p>問38 あなた自身に介護が必要となったとしたら、どこで誰に介護をして欲しいですか。現在の状況にかかわらず、ご希望をお答えください。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．自宅で、配偶者・パートナーに 2．自宅で、娘に 3．自宅で、息子に 4．自宅で、息子の妻・パートナーに 5．自宅で、娘の夫・パートナーに 6．自宅で、ヘルパーなどに 7．病院・介護施設等で 8．その他 9．わからない 	
	<p>問39 もし、家族が介護を必要とする状態になった場合、あなたは、どのような方法でその家族の世話をするとお考えですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．自宅で、自分で 2．自宅で、配偶者・パートナーに任せて 3．自宅で、配偶者・パートナー以外の家族に任せて 4．自宅で、ヘルパーなどに任せて 5．病院・介護施設等で 6．その他 7．わからない 8．介護の必要な家族はいない 	
	<p>問40 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いませんか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．思う 2．思わない 3．どちらともいえない 4．わからない 	<p>現在では性別に配慮した対応は当然のこととなっているため削除しました</p>

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問32 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思えますか。 <u>（いくつでも選んでください）</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難所の設備（トイレ、更衣室、洗たく干し場等） 2. 避難所の設計・運営に男女がともに参画し、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること 3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート事業） 4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮 5. 被災者に対する相談体制 6. 防災に関する会議に男女がともに参画し、防災計画に多様な視点が入ること 7. 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に多様な視点が入ること 8. 自主防災組織等に男女がともに参画し、地域で行われる防災活動に多様な視点が入ること 9. 災害復旧・復興対策計画の策定に男女がともに参画し、計画に多様な視点が入ること 10. その他 	<p>問40で、「1. 思う」と答えた方にお聞きします</p> <p>問41 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何だと思えますか。 （3つまで選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗たく干し場等） 2. 避難所の設計・運営に男女がともに参画し、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること 3. 災害時の救援医療体制（乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート事業） 4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮 5. 被災者に対する相談体制 6. 防災に関する会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること 7. 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること 8. 自主防災組織等に男女がともに参画し、地域で行われる防災活動に男女両方の視点が入ること 9. 災害復旧・復興対策計画の策定に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること 10. その他 	
<p>問33 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの現実に最も近いものはどれですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「地域・個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立している 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立している 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立している 	<p>問42 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの現実に最も近いものはどれですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先している 2. 「家庭生活」を優先している 3. 「地域・個人の生活」を優先している 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立している 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立している 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立している 8. その他 9. わからない 	<p>回答の傾向を明確にするために「その他」「わからない」を省きました</p>
<p>問34 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭生活」を優先したい 3. 「地域・個人の生活」を優先したい 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立させたい 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立させたい 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立させたい 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立させたい 	<p>問43 生活における「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「仕事」を優先したい 2. 「家庭生活」を優先したい 3. 「地域・個人の生活」を優先したい 4. 「仕事」と「家庭生活」を両立させたい 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」を両立させたい 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立させたい 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべてを並立させたい 8. その他 9. わからない 	
<p>問44 あなたは、宇治市における政策・方針決定において女性の意見が反映されていると思えますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない 		

今回調査（市民調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問44で「2. 思わない」とお答えにお聞きします</p> <p>問45 政策・方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男性中心の組織運営 2. 家族の支援や理解が得られない 3. 性別役割分担や性差の意識 4. 女性自身の積極性が不十分 5. 女性の社会参画に対する施策が不十分 6. 政策や方針決定に参画できる場が少ない 7. その他 	
<p>問35 あなたは政治・地域・職場などにおいて、政策・方針決定の場へ参画したいと思いますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない <p><u>政策・方針決定の場への参画とは、議員や審議会委員、町内会（自治会）での役員、職場においては管理職などになることなどをイメージしてください。</u></p>	<p>問46 あなたは政治・地域・職場などにおいて、政策・方針決定の場へ参画したいと思いますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない 	
<p>問36 あなたは、男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、男女共同参画のまちづくりを推進するためには、どのような行政施策が必要であると思えますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女平等や男女共同参画に関する教育・啓発 2. 雇用における男女の格差是正の推進 3. 母性保護及び女性の健康対策 4. 保育サービスの充実 5. 障害のある人に対するサービスの充実 6. 学童保育の充実 7. 介護・看護サービスの充実 8. ボランティア活動に関する情報提供 9. 市民団体等と連携したまちづくり活動 10. 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する市民交流会の開催 11. 市民団体における女性リーダーの育成 12. 審議会委員などへの女性委員の積極的登用 13. 労働時間の見直しに関する啓発 14. 災害時における女性の視点を取り入れた防災（災害復興）体制の確立 15. その他 	<p>問47 あなたは、男女がともに仕事と生活の調和を図りながら、男女共同参画のまちづくりを推進するためには、どのような行政施策が必要であると思えますか。（いくつでも選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 男女平等や男女共同参画に関する教育・啓発 2. 雇用における男女の格差是正の推進 3. 母性保護及び女性の健康対策 4. 保育サービスの充実 5. 障害のある人に対するサービスの充実 6. 学童保育の充実 7. 介護・看護サービスの充実 8. ボランティア活動に関する情報提供 9. 市民団体等と連携したまちづくり活動 10. 男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する市民交流会の開催 11. 市民団体における女性リーダーの育成 12. 審議会委員などへの女性委員の積極的登用 13. 労働時間の見直しに関する啓発 14. 災害時における女性の視点を取り入れた防災（災害復興）体制の確立 15. その他 	
<p>問37 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書きください。</p>	<p>問48 最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書きください。</p>	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問1 貴事業所の主な業種をお答えください。（1つ選んでください）</p> <p>1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売・飲食業 4. サービス業 5. 建設業 6. 教育・学習支援業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 水道・電気・熱供給業 10. 農林漁業 11. 医療・福祉 12. その他</p>	<p>問1 貴事業所の主な業種をお答えください。（1つ選んでください）</p> <p>1. 製造業 2. 卸売業 3. 小売・飲食業 4. サービス業 5. 建設業 6. 教育・学習支援業 7. 金融・保険業 8. 不動産業 9. 水道・電気・熱供給業 10. 農林漁業 11. 医療・福祉 12. その他</p>	
<p>問2 貴事業所の構成員についておたずねします。</p> <p>正規従業員数 パート従業員数 派遣従業員数 管理職数 障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める） 令和元年度（2019年度）の新規採用者（正規）数 正規従業員の平均勤務年数（平成31年3月31日現在）</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	<p>問2 貴事業所の構成員についておたずねします。</p> <p>正規従業員数 パート従業員数 派遣従業員数 管理職数 障害者雇用者数（障害者雇用促進法で定める） 平成26年度の新規採用者（正規）数 正規従業員の平均勤務年数（平成27年3月31日現在）</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	
<p>問3 この調査票の記入者の役職をお答えください</p> <p>1. 経営者・役員 2. 部長級 3. 課長級 4. その他</p>	<p>問3 この調査票の記入者の役職をお答えください</p> <p>1. 経営者・役員 2. 部長級 3. 課長級 4. その他</p>	
<p>問4 育児・介護休業の取得状況についておたずねします。</p> <p>平成30年度の育児休業の取得者数 平成30年度の介護休業の取得者数</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	<p>問5で「1. はい」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問5-2 介護休業の取得状況についておたずねします。</p> <p>平成26年度の介護休業の取得者数</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	
<p>問6で「1. はい」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問6-2 育児休業の取得状況についておたずねします。</p> <p>平成26年度の育児休業の取得者数</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	<p>問6で「1. はい」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問6-2 育児休業の取得状況についておたずねします。</p> <p>平成26年度の育児休業の取得者数</p> <p>×</p> <p>男性 女性</p>	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
	<p>問4 男女共同参画社会・女性の人権にかかわる以下の用語について、ご存知ですか。（それぞれ1つ選んでください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会 男女共同参画社会基本法 女子差別撤廃条約 男女雇用機会均等法 ジェンダー セクシュアル・ハラスメント（セクハラ） マタニティ・ハラスメント ポジティブ・アクション（積極的改善措置） ワーク・シェアリング 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） 第3次UJ I あさぎりプラン（宇治市男女共同参画計画） 宇治市男女生き生きまちづくり条例 <p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容まで知っている 言葉を見たり聞いたりしたことはある 全く知らない 	<p>事業所としてではなく回答者個人の認知になるため削除しました</p>
<p>問5 貴事業所では介護を支援する対策を講じていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 	<p>問5 貴事業所では介護を支援する対策を講じていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 	
	<p>問5で「1. はい」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問5-1 介護を支援する対策はどのようなものですか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 就業規則に介護支援に関する規定を定めている 2. 介護休業制度を導入している 3. 介護のため休暇が必要な事業所従業員の希望は聞き入れている 4. 法律の枠を超える介護休業期間の取得を認めている 5. 介護休業制度が取得しやすい雰囲気をつくっている 6. 勤務時間短縮などの措置を講じている 7. 在宅勤務制度やフレックスタイム制を導入している 8. 施設やサービスを利用するための援助金を出している 9. その他 	<p>育児・介護を含めた「両立支援」として設問をまとめました 問15～17</p>
	<p>問5で「2. いいえ」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問5-3 介護を支援する対策を講じていない理由をお答えください。（いくつ選んでも結構です）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 制度を知らなかったから 2. 代替の要員の確保が困難だから 3. 復帰後の職場の確保が難しいから 4. 人件費が増大するから 5. 他の従業員の負担が大きくなるから 6. その他 	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問6 貴事業所では育児を支援する対策を講じていますか。</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>	<p>問6 貴事業所では育児を支援する対策を講じていますか。</p> <p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p>	
/	<p>問6で「1. はい」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問6-1 育児を支援する対策はどのようなものですか。（いくつ選んでも結構です）</p> <p>1. 就業規則に育児支援に関する規定を定めている</p> <p>2. 育児休業制度を導入している</p> <p>3. 育児のため休暇が必要な事業所従業員の希望は聞き入れている</p> <p>4. 法律の枠を超える育児休業期間の取得を認めている</p> <p>5. 給与に育児等の手当をつけている</p> <p>6. 勤務時間を短縮するなどの措置を講じている</p> <p>7. 在宅勤務制度やフレックスタイム制の適用により間接的に支援している</p> <p>8. 施設やサービスを利用するための援助金を出している</p> <p>9. 事業所内に託児施設を設けている（外部に委託している場合も含む）</p> <p>10. その他</p>	
/	<p>問6で「2. いいえ」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問6-3 育児を支援する対策を講じていない理由をお答えください。（いくつ選んでも結構です）</p> <p>1. 制度の存在を知らなかったから</p> <p>2. 代替要員の確保が困難だから</p> <p>3. 復帰後の職場の確保が難しいから</p> <p>4. 人件費が増大するから</p> <p>5. 他の従業員の負担が大きくなるから</p> <p>6. その他</p>	
<p>問7 貴事業所では、5年前と比べて女性の雇用状況は変化していますか。</p> <p>女性従業員数</p> <p>女性管理職数</p> <p>×</p> <p>1. 増えている</p> <p>2. 変わらない</p> <p>3. 減っている</p>	/	<p>女性活躍の状況を明らかにすることを意図しました</p>
<p>問8 貴事業所では、今後、女性の雇用をどのようにしたいと考えていますか。</p> <p>女性従業員数</p> <p>女性管理職数</p> <p>×</p> <p>1. 増やしたい</p> <p>2. どちらともいえない</p> <p>3. 減らしたい</p>	/	<p>女性活用の意識を明らかにすることを意図しました</p>

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問9 貴事業所において、女性を積極的に登用するために、現在、取り組んでいることはありますか。また今後、取り組みたいことはありますか。「現在」「今後」それぞれに はいくつでも</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非正規従業員から正規従業員への転換制度 2. 非正規従業員を管理職に登用する制度 3. 性別にかかわらず客観的な人事考査のための基準の明確化 4. 女性従業員の人材育成を目的とした研修実施と参加促進 5. 女性従業員の積極的な採用 6. 従業員の勤務時間や担当業務などに本人の希望を反映 7. 従業員の資格取得や社会貢献活動を支援 8. 従業員から職場環境の改善について意見要望を取り上げる 9. 従業員のメンタルヘルスに関するサポート 10. 管理職を対象に女性従業員活用のための指導や研修の実施 11. 仕事上の相談にのり、業務のアドバイスを行うなど先輩社員（メンター）がサポートする制度 12. 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 13. どれもない <p>× 現在、取り組んでいる 今後、取り組みたい</p>		<p>女性活用のための取組をまとめました</p>
	<p>問7 貴事業所では、次世代育成支援対策推進法に基づく事業主行動計画を策定していますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 策定済みである 2. 現在策定中、または策定を予定している 3. 今のところ策定の予定はない 4. その他 	<p>問15に含めました</p>
	<p>問11 「ポジティブ・アクション」について、貴事業所の状況をお聞きます。貴事業所では「ポジティブ・アクション」に取り組んでいますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取り組んでいる 2. 取り組んでいない 	
<p>問10 貴事業所では、次のような「ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」に取り組んでいますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性従業員比率の数値目標を設けるなど女性の採用が増えるよう努めている 2. これまで女性が少なかった職種や職務に積極的に女性を配置するようにしている 3. 公正な人事考査を行い、能力のある女性の昇任・昇格に努めている 4. 各種研修、教育機会への女性の参加を奨励している 5. 昇任・昇格試験の受験を女性に奨励している 6. 職業生活と家庭生活とを両立させ、長く勤められるように、制度の工夫など職場の環境づくりに努めている 7. 女性の提案や発言を求めるなど、女性の責任感や意識を向上させるために配慮している 8. 男女平等な職場環境となるよう、社内の意識改革を進めている 9. 女性の役員・管理職への登用について数値目標を定めている 10. その他 11. どれも取り組んでいない 	<p>問11で「1. 取り組んでいる」とお答えの方にお聞きます</p> <p>問11-1 具体的な取り組み内容はどのようなものですか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 女性従業員比率の数値目標を設けるなど女性の採用が増えるよう努めている 2. これまで女性が少なかった職種や職務に積極的に女性を配置するようにしている 3. 公正な人事考査を行い、能力のある女性の昇任・昇格に努めている 4. 各種研修、教育機会への女性の参加を奨励している 5. 昇任・昇格試験の受験を女性に奨励している 6. 職業生活と家庭生活とを両立させ、長く勤められるように、制度の工夫など職場の環境づくりに努めている 7. 女性の提案や発言を求めるなど、女性の責任感や意識を向上させるために配慮している 8. 男女平等な職場環境となるよう、社内の意識改革を進めている 9. 女性の役員・管理職への登用について数値目標を定めている 10. その他 	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
	問11で「2．取り組んでいない」とお答えの方にお聞きします 問11-2 取り組んでいない理由をお答えください。（いくつ選んでも結構です） 1．ポジティブ・アクションを知らなかった 2．ポジティブ・アクションは知っているが、取り組めるだけの余裕がない 3．女性だけあるいは男性だけの事業所なので取り組む必要がない 4．家族経営の事業所なので取り組んでいない 5．その他	
問11 女性を管理職に登用するうえで課題となるのは、どのようなことですか。（〇はいくつでも） 1．女性自身が管理職を望まない傾向がある 2．出産、育児、介護等で離職する女性が多い 3．残業や休日出勤、出張などができない女性が多い 4．昇進・昇格要件となる経験や能力を備えた女性が少ない 5．取引先等から女性管理職が受け入れられにくい 6．女性の就いている職種、部門が限定的である 7．男性の部下が女性の管理職を好まない傾向がある 8．その他 9．特に課題となることはない		
	問8 どのような行為をセクシュアル・ハラスメントだと思えますか。（いくつ選んでも結構です） 1．身体に触る 2．ダンスや歌などを強要する 3．身体的な特徴を言う 4．男女間のうわさをたてる 5．既婚・未婚・年齢・子どもの有無などについて、詳しく聞く 6．「おじさん」「おばさん」「ちゃん」などと呼ぶ 7．身体をじろじろ見る 8．わいせつな話をする 9．わいせつな雑誌・写真・ポスター などを見せる 10．交際や性的関係を強要する 11．その他	
	問9 セクシュアル・ハラスメントが発生する原因は何だと思われませんか。（いくつ選んでも結構です） 1．職場で、「女は家庭、男は仕事」といった性的な固定観念の押しつけ（パートナー意識の欠如）があるから 2．公的な場所である職場へ私的な性的関心を持ち込むから 3．プライベートな事柄まで干渉する従業員がいるから 4．男女間には、性的な言動に対する大きな意識の差があるから 5．職場が、雇用管理において男性中心の発想から抜け出せていないから 6．その他	
	問10 セクシュアル・ハラスメントに対する対策をとっていますか。 1．とっている 2．とっていない	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問12 貴事業所では、職場におけるハラスメントを防止するため、現在、取り組んでいることはありますか。（〇はいくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる 2. ハラスメント防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している 3. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている 4. ハラスメント防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている 5. ハラスメントの相談・苦情を受け付ける相談窓口を設置している 6. 相談窓口担当者の研修を実施している 7. 相談窓口担当者に女性をおいている 8. ハラスメントについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている 9. その他 <p>10. どれも取り組んでいない</p>	<p>問10で「1.とっている」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問10-1 セクシュアルハラスメントに対して、どのような対策をとっていますか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理規定や行動基準等を、就業規則に盛り込んでいる 2. セクシュアルハラスメント防止に向けての社内通達やパンフレットを配布している 3. セクシュアルハラスメント防止のための意識改革・啓発のための管理職研修を行っている 4. セクシュアルハラスメント防止のための意識改革・啓発のための従業員研修を行っている 5. セクシュアルハラスメントの相談・苦情を受け付ける相談窓口を設置している 6. 相談窓口担当者の研修を実施している 7. 相談窓口担当者に女性をおいている 8. セクシュアルハラスメントについて、顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている 9. その他 	<p>法律の改正などセクシュアル・ハラスメントだけでなくハラスメント全般の対応が必要とされているため、修正しました</p>
	<p>問10で「2.とっていない」とお答えの方にお聞きします</p> <p>問10-2 対策をとっていない理由をお答えください。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業主に防止義務があることを知らなかった 2. 当事業所には訴えがない（セクシュアル・ハラスメントがない） 3. その他 	
<p>問13 国や京都府が取り組む、次の企業認定・認証制度をご存知ですか。（は～それぞれに1つ）</p> <p>（次世代育成支援対策推進法）「子育てサポート企業」として認定（くるみんマーク）</p> <p>（女性活躍推進法）女性の活躍推進に関する状況等が優良な事業主の認定（えるぼし認定）</p> <p>「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証ワーク・ライフ・バランスに取り組む方針を宣言し、認証基準を満たす従業員300人以下の府内事業所を京都府が認証</p> <p>×</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取得済み 2. 知っている 3. 知らない 		<p>認証制度の認知状況を明らかにするために追加しました</p>
<p>問14 （問13のうち、1つでも「知っている」と答えた方に）貴事業所で取得しない理由は何ですか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 取得の方法がわからない（難しそうだ）から 2. 関心がないから 3. 取得しても意味がないと思うから 4. 関心はあるが、忙しくて手が回らないから 5. その他 		
	<p>問12 「ワーク・ライフ・バランス」について貴事業所の状況をお聞きします。貴事業所では「ワーク・ライフ・バランス」に取り組んでいますか。（1つ選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的に、ワーク・ライフ・バランスを実践している 2. 今後、積極的に取り組んでいきたい 3. 労働関係法等で定められた範囲で取り組んでいる 4. 取り組んでいきたいが余裕がない 5. ワーク・ライフ・バランスが何かを知らない 6. ワーク・ライフ・バランスには反対 	<p>抽象的な聞き方になっているため、問15で具体的に聞く内容に改めました</p>

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問15 貴事業所では、男女がともに育児・介護をしながら働くことについて、現在、取り組んでいることはありますか。また今後、取り組みたいことはありますか。「現在」「今後」それぞれに はいくつでも</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法定以上の期間の休業を付与する育児・介護休業制度 2. 育児・介護休業中に給与の一部や手当を支給 3. 育児・介護サービス利用料の援助 4. 家族のための休暇（学校行事の休暇など）の付与制度 5. 配偶者出産休暇制度 6. 事業所内託児所を設置 7. 休業中の情報提供など、職場復帰をしやすい配慮 8. 子育て・介護を理由に退職した従業員の再雇用制度 9. 男性の育児休業・介護休業の取得の促進 10. 短時間勤務やフレックスタイムなど弾力的な勤務形態 11. 計画的な残業禁止日（ノー残業デー等）を設定 12. 残業の事前承認による残業時間の削減の推進 13. 半日又は時間単位の有給休暇の付与制度 14. 有給休暇の計画的取得、時季指定の取得の推進 15. 複数担当制など他の人が仕事を代替できる体制 16. 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定 17. どれもない <p>× <u>現在、取り組んでいる</u> <u>今後、取り組みたい</u></p>	<p>問12で、「1」「2」「3」とお答えの方にお聞きします。</p> <p>問12-1 貴事業所では、ワーク・ライフ・バランスの取り組みとして、どのようなことを実施していますか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営戦略等にワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込んでいる 2. 法律で禁止されている育児休業や短時間勤務制度の利用による不利益取り扱いについて、社内でもこれに準じた規則を設けている 3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設けている 4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮している 5. ノー残業デーを設ける等長時間労働を行わないような意識改革を促している 6. 従業員相互で業務を共有するなど作業の効率化を図っている 7. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施している 8. ワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施している 9. その他 	<p>事業所に対する啓発目的も兼ねて、項目を網羅しました</p>
<p>（このセルは対角線が入っています）</p>	<p>問13 ワーク・ライフ・バランスの取り組みとして、どのようなものが効果があると思いますか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営戦略等にワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込む 2. 法律で禁止されている育児休業や短時間勤務制度の利用による不利益取り扱いについて、社内でもこれに準じた規則を設ける 3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設ける 4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮する 5. ノー残業デーを設ける等長時間労働を行わないような意識改革を促す 6. 従業員相互で業務を共有するなど作業の効率化を図る 7. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施する 8. ワーク・ライフ・バランスに関する研修を実施する 9. その他 	

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<p>問16 <u>仕事と育児や介護の両立支援</u>を進めることにより、事業所としてどのような効果が期待できると思いますか。（はいくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 優秀な人材を採用できる 2. 中途退職する従業員が減少する 3. 人件費コスト・募集コストを軽減できる 4. 地域社会への貢献度が高い企業、先駆的な企業など企業イメージ向上につなげることができる 5. 従業員の意欲が高まり、生産性の向上につながる 6. チームや組織で助け合う雰囲気が醸成される 7. 従業員全体の業務効率化に向けての意識改革を図ることができる 8. 組織・業務体制の見直しにより、業務効率が向上する 9. 多様な価値観や生活者の視点・消費者の視点を本業に活かすことができる 10. その他 	<p>問14 ワーク・ライフ・バランスを進めることにより、事業所としてどのような効果が期待できると思いますか。（主なもの3つを選んでください）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 優秀な人材を採用できる 2. 中途退職する従業員が減少する 3. 人件費コスト・募集コストを軽減できる 4. 地域社会への貢献度が高い企業、先駆的な企業など企業イメージ向上につなげることができる 5. 従業員の意欲が高まり、生産性の向上につながる 6. チームや組織で助け合う雰囲気が醸成される 7. 従業員全体の業務効率化に向けての意識改革を図ることができる 8. 組織・業務体制の見直しにより、業務効率が向上する 9. 多様な価値観や生活者の視点・消費者の視点を本業に活かすことができる 10. その他 <p>11. 特になし</p>	<p>「ワーク・ライフ・バランス」の言葉の理解は、まだそれほど進んでいないと考えられることから「両立支援」を使用しました</p>
<p>問17 貴事業所において、仕事と育児や介護の両立支援を推進しようとする場合、どのような問題があると思いますか。（はいくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に労働時間が長い部門・事業所がある 2. 全体的に休暇取得率が低い 3. 育児休業や介護休業をとりづらい雰囲気がある 4. 育児休業や介護休業などによる代替要員の確保が難しい 5. 業務の効率や質が落ちる 6. 育児・介護支援に関する管理職の認識が不足している 7. 育児・介護両立支援制度の導入には、コストの増加が伴う 8. 情報やノウハウ不足により制度の運用が難しい 9. 育児・介護両立支援の効果が、事業所として数値で実感しにくい 10. 公的及び民間の保育・介護サービスが不足している 11. 社会通念上、男性が育児・介護に参加しにくい 12. 休業することで収入などの面で不安があるため、従業員が利用を望まない 13. その他 14. 特に問題となることはない 		<p>両立支援に取り組む課題を明らかにするために追加しました</p>
<p>問18 今後、事業の男女共同参画を進めるにあたり、行政に対してどのようなことを望まれますか。（はいくつでも）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌やパンフレットなどで、事業所の男女共同参画について啓発を行う 2. 男女共同参画の推進や女性の能力開発のための講座やセミナーを開催する 3. 事業所が行う研修会などに、講師の派遣や紹介など協力する 4. 結婚や出産、育児退職後の再就職及び能力開発の機会をつくる 5. 男女共同参画に関して、事業所や労働者のための相談機能の充実を図る 6. 男女平等に向けた雇用・労働条件確保のために、指導的役割の強化を図る 7. その他 8. 特に何もなし 		<p>前回の問15の選択肢が多すぎるため、事業所が望むことにしぼりました</p>

今回調査（事業所調査）	前回調査	修正、追加の意図
<div style="text-align: center; font-size: 2em; transform: rotate(45deg);">/</div>	<p>問15 今後、男女共同参画社会の形成へ向けてどのようなことが重要だと思いますか。（いくつ選んでも結構です）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．政策・方針決定過程への女性の参画の拡大を図る 2．男女共同参画の観点に立って社会制度・慣行・慣習などの見直しを行う 3．政策や方針決定の場における女性の登用促進を進める 4．国民的な広がりを持った広報・啓発活動を展開する 5．女性が自らに保障された法律上の権利や権利侵害に対する対応などについて正確な知識が得られるような環境や相談体制を充実させる 6．男女共同参画にかかわる情報の収集・整理・提供を充実させる 7．雇用の分野における男女の均等な機会と待遇が確保できるよう対策をする 8．雇用の分野における母性保健のための女性健康管理対策や、生涯を通じた女性の健康保持増進対策を推進する 9．女性の能力発揮促進のための援助制度を設ける 10．女性の多様な就業ニーズを踏まえた環境の整備を図る 11．多様なライフスタイルに合わせた子育て支援策を充実させる 12．仕事と育児・介護の両立のために雇用環境を整備する 13．家庭生活、地域社会への男女の共同参画を促進する 14．高齢者が安心して暮らせる介護体制を構築する 15．高齢期の所得を保障し、高齢者の社会参画や自立等を容易にする社会基盤を整備する 16．障害のある人に対するサービスを充実する 17．女性に対する暴力をなくすための基盤づくりを推進する 18．セクシュアル・ハラスメント防止対策を推進する 19．性犯罪や売買春への対策を推進する 20．女性の人権を尊重したメディアの取り組みを支援し、拡大する 21．家庭・地域・学校・職場で男女平等教育を推進する 22．多様な選択を可能にする教育・学習の機会を充実させる 23．その他 	
	<p>最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書き下さい。</p>	<p>最後に宇治市の男女共同参画施策に関するご意見等がありましたらご自由にお書き下さい。</p>